平成24年度第２回みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会　議事録	
開催日時	平成25年３月25日（月）午前10時から11時50分まで
開催場所	緑区役所２階　第一会議室
出 席 者 （敬称略）	市木智子、井上和子、中島光明、古内敏子、 森 泰昭、横塚靖子、吉田英二、村井祐一（座長）
欠 席 者 （敬称略）	岡部忠男、田中賢
議　題	(1) 第２期みどりのわ・ささえ愛プランの平成24年度推進状況 (2) 第31回　社会福祉大会第２部の開催報告 (3) 平成25年度の推進について (4) その他
資　料	(1) 次第 (2) 資料１　みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会　委員等一覧 (3) 資料２　緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」推進委員会運営要綱 (4) 資料３　みどりのわ・ささえ愛プラン（H23年度～H27年度）５年間の推進イメージ (5) 資料４　みどりのわ・ささえ愛プラン 平成25年度推進スケジュール (6) 平成24年度推進状況報告書 ・その他（印刷物「地区別計画推進委員会通信　各地区№４　※新治中部は№６） 会場内にパネル（各地区平成24年度推進状況）を展示。
決定事項	・第２期みどりのわ・ささえ愛プランの平成24年度推進状況の報告を受け、平成24年度の取組の振り返りを行った。 ・平成25年度の推進スケジュールの確認を行った。
議　事	**１　開会（事務局）** ・あいさつ（宮口福祉保健センター担当部長） ・委員並びに出席者紹介（委員・地区支援チームリーダー等・事務局） **２　議事（座長）** ・座長（挨拶） （村井座長）田園調布学園大学の村井でございます。年度末のお忙しい中、委員の皆さんに、また、各地区のチームリーダーである区役所の課長に御出席いただき、お礼申し上げます。この第２期みどりのわ・ささえ愛プランも間もなく推進２年目が終わり、３年目の中間点を迎えることになります。そういった意味では、目標達成に向け、それぞれの取組を発展・完成させていく上で、非常に重要な時期でもあります。そこで気を付けないといけないのは、本質を見失わないということです。取組を進めていくことも大切ですが、重要なのは、地域住民と行政・社協・地域ケアプラザなどの関係機関が協働し、連携しながら、地域の課題解決を目指し、そのための検討を進めていくことで、こうした関係を構築していくことです。そのためにはお互いを良く知り合う必要があります。私自身もそのきっかけとして、この委員会を非常に大事にしたいと考えています。 　これから推進状況を振り返り、中間評価をしていくことになりますが、各地区の委員会の様子や取組を直接目に触れたいと思っています。これは、座長としてのお願いになりますが、ぜひ、そういった機会を作っていただけると有難いです。

ぜひ、よろしくお願いします。

(1) 議題１　第２期みどりのわ・ささえ愛プランの平成 24 年度推進状況

（村井座長）それでは議題に入ります。まずは、議題１「第２期みどりのわ・ささえ愛プランの平成 24 年度推進状況」についてですが、お手元にある資料冊子がありますが、平成 24 年度の様々な取組などがこの中に集約されています。では、事務局から報告をお願いします。

（事務局）
・　資料冊子「第２　期緑区地域福祉保健計画　みどりのわ・ささえ愛プラン　平成 24 年度推進状況報告書」を用いての説明。
（第１章・第３章は事務局、第２章は各地区チームリーダーから説明。）

（村井座長）ありがとうございます。平成 24 年度の地区別計画の取組を中心に御説明いただきました。まさに第２期の特徴を反映して、各地区の特色を活かした取組が進んできております。そして、何よりも素晴らしいのは、各地区支援チームのリーダーが、地域の取組や特徴をまるで自分のことのように熱意を持って説明いただいたことです。地域の皆さんと一緒に取り組んでいる姿勢を感じることができました。委員の皆さんは、いかがでしょうか？

（市木委員）私もそう思いました。区の職員の方の中には、福祉・保健などと直接関係のない方もいると思います。ここまで地域に入り込んで、一緒にやっているというのは他ではないと思います。緑区役所の方は偉いと思いました。

（村井座長）ご説明いただいた一つひとつの内容の中身が濃く、私も凄いと感じました。

（横塚委員）私も同様です。地区支援チームの皆さんが、心から支援してくださっていることを感じています。私は横浜市の民生委員児童員協議会にも出席していて他の区の話も聞きますが、緑区は大変素晴らしいと思います。そして、地区別計画推進委員会は民生委員児童委員だけでなく、地域の様々な団体が参加していて、それぞれの団体が知り合う場にもなっています。長津田地区では、昨年の 10 月に村井委員長を講師でお招きし、地区民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会・自治連合会主催で、地域の見守り活動に必要な「個人情報保護」の研修会を実施しました。非常にわかりやすく、勉強になりましたので、こうした機会に地域の皆様が参加できるようにしていきたいと考えています。

（村井座長）横塚委員のお話からも、行政がここまで地域に入り込んでいる、ということが伝わってきます。

（吉田委員）お話を聞いて、各地区とも真剣に取り組んでいると感じました。第１期計画では、区全体の話が中心でしたが、第２期計画では、地域の実情に応じた支援がされていて、地区別計画を策定して本当に良かったと思います。地区別計画の推進は間もなく３年目に入りますが、これまでの取組としては、防災関係や「地域のつながり」を大きな目標に掲げている地区が多いですが、各地区で取組は様々ですが、進んできていると感じました。東本郷地区でも、“ふれあい”“つながり”“助け合い”ということで、自治会・老人クラブなどで大勢の方々が活動しており、定着しています。こうした趣味などの活動を通じ、常に顔を合わせて、そこから地域のつながりができていくと思います。

（村井座長）吉田委員のお話のとおり、“機会・場づくり”から“つながり”につなげ

ていくことが非常に大切なことだと思います。これまでは、皆さんの関心が高い防災の話が中心でしたが、防災の取組を進めるためには、日常生活の中で、趣味などの地域活動を通じて、“つながり”をつくっていくこと、そのために自治会、地区社会福祉協議会、老人クラブなど各団体が連携していくことが必要になります。計画を推進する中で、ツールを作成することが目標になってしまいがちですが、重要なのは、それを活用することです。例えば、「マップ」を作成して満足してしまいますが、実際の取組は、活用してもらうことが目的なので、配ってからがスタートになります。こういった取組を継続していき、「ありがとう」と言われる機会をどのように作っていくかが重要になります。

竹山地区で説明があった防災、サロン、ベンチなど他の地区も参考になりますし、白山地区では毎月委員会を開催するなど、どの地区も特徴のある地域ならではの取組を進めています。三保地区で説明のあったＧＩＳを用いたマップに関しても、「紙のマップも欲しい！」という声が上がったという話がありましたが、まさにそれこそが地域の声を反映しているものだと思います。各地区が自慢できる取組を競い合う訳では決してありません。大勢の方々に参加してもらうことが大切なことです。

（横塚委員）前回の委員会で御説明しました長津田地区の黄色いバンダナ（災害時要援護）の取組ですが、白山地区でも同様の取組が始まると聞いています。とても喜ばしいことです。長津田地区では、75 歳以上の一人暮らし高齢者が 600 人近くいますが、「年末たすけあい募金」を有効活用し、「防災グッズ」の配布を行いました。ほかにも高齢者夫婦だけの世帯も 140 世帯近くいますので、こうした方々への支援も検討していかなければなりません。また、自治連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会が協力し、地区別計画推進費も活用して、黄色いバンダナの取扱説明書の全戸配布も行いました。今後も様々な団体と協力しながら、地域が主体となって取組を進めていければと考えています。

（村井座長）こういった取組がきっかけで、地域の様々な団体の”つながり〃が強まっていくのだと思いますし、相互の活動を知り合う機会にもなります。

(2) 議題２　第 31 回　社会福祉大会第２部の開催報告

（村井座長）それでは次の議題２「社会福祉大会第２部の開催報告」について、事務局から報告をお願いします。

（事務局）
・　資料冊子「第２　期緑区地域福祉保健計画　みどりのわ・ささえ愛プラン　平成 24 年度推進状況報告書」を用いての説明。
（第２章　P85・P86 を事務局が説明。）

（村井座長）ありがとうございました。私も毎年機会をいただき、参加していますが、毎回思うのは、取り組んできたことの難しさ、そして、良くしていきたいと本気で取り組んできた凄さです。直接会場に来ていただき、お話を聞いていただくのが一番だと思います。このような発表は、ぜひ今後も続けていただけると有難いです。それぞれの地域が、地域の生の声を届ける貴重な機会です。行く行くは発表地区の応援団などが駆けつけて、地域の晴れ舞台を見守るような…そんな場になれば良いと思います。もちろん、開催に向けた事務局の皆さんの準備も大変だ

ったと思います。
（仲丸事務局長：緑区社会福祉協議会）地域の支援は、地区支援チームで行っていて、発表にあたっては、地域ケアプラザが中心となって、調整・準備しています。
（村井座長）地域に一番身近な地域ケアプラザがそうした役割を担っていただいていることは非常に良いことだと思います。これから第３期計画を考えていく中で、すべての事業が“地区支援”とイコールになり、その中で“地域福祉”の切り口を考えていく必要があります。そうした流れの中で、地域ケアプラザの存在が一番大変であり、重要になってくると思います。

(3) 議題３　平成 25 年度の推進について

（村井座長）それでは次の議題３「平成 25 年度の推進について」について、事務局から報告をお願いします。

（事務局）
・資料３　みどりのわ・ささえ愛プラン（H23 年度～H27 年度）５年間の推進イメージ
・資料４　みどりのわ・ささえ愛プラン 平成 25 年度推進スケジュール
（事務局が説明。）

（村井座長）ありがとうございました。地域福祉保健計画は、作ることが目的ではなく、実践することが重要です。そのためには、連携・協働で取り組んでいき、“自助”“共助”“公助”に気付いていただくきっかけを作っていただきたいと思います。来年度は、第２期計画の３年目で中間年でもあり、非常に重要な変革の年度になります。今現在は地域の課題解決に向けた取組が中心ですが、いつかは、地域に住んでいる“個人の問題”も地域で解決できるようになれば素晴らしいと思います。イベントを行うことが目的ではなく、きっかけづくりであり、そこに集まる担い手・参加者を継続的に確保すること、地域と区が連携しながら、課題を整理して共有することが大事になります。先ほど吉田委員から老人クラブのお話がありましたが、現在の連合自治会単位の取組が今以上に充実し、より小さい“小地域”で”見守り・声掛け・つながりづくり・生きがいづくり“が実践されることで、「いつまでも緑区に住み続けたい！」と思っていただけるようになれば良いと思います。ご質問・ご意見等よろしいでしょうか？

(4) 議題４　その他

（村井座長）それでは、せっかくの機会ですので、各委員さんから一言ずつ、お願いします。
（中島委員）各地区が目標に向かって、着実に取組が進んでいると感じました。報告書にあるとおり、11 地区それぞれが地区の特徴を活かして取り組んでいて、この地区別計画推進の仕組みは理想的だと思います。あとは、PDCA（ピーディーシーエー）※をしっかりやることが重要だと思います。

※PDCA サイクル
Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する手法。

	（村井座長）内容にもよりますが、数的目標などを持ち、検証していけるとわかりやすいと思います。 （井上委員）皆さんと同じで、それぞれの取組が進んでいることがわかりました。その一方で、山下地区はやはり出遅れていると感じました。山下地区も地域が一体となり、各団体が連携しながら、取組を進めていければ良いと思います。先ほども担当の課長さんから説明がありましたが、２月から「元気づくりステーション」が立ち上がり、地域の方々の協力をいただきながら活動しています。こうした活動を広げていきたいと思います。これからも大きな事はできませんが、小さな活動を続けていきたいと思います。 （市木委員）災害時等の利用を目的とした障がい者児・者の個人情報の提供が横浜市でも検討されています。個人情報は、身体障害者手帳や療育手帳等の情報などで、どのように提供していくのか、緑区心身障害児者連絡協議会では、区役所障害者支援担当とも相談しているところです。自治会や民生委員児童委員の皆さんにもご理解いただき、何かあれば、緑区心身障害児者連絡協議会にお問い合わせいただければと思います。緑区心身障害児者連絡協議会の理事会は毎月第３木曜日に開催していて、障がいのある方の支援について、話し合いを行っています。長津田地区の”黄色いバンダナ〃＝要援護の取組は大変有難いので、情報提供も含め、どれだけできるかわかりませんが、一緒に検討できればと考えています。 （古内委員）様々な取組に一人でも多くの方が参加できると良いと思います。山下地区で「子ども会」活動の活性化に向けて検討していることを知り、とても嬉しく感じます。地域の中で「子ども会」を育てていってほしいです。新治中部地区でも以前、老人会の立て直しに取り組んだことがあり、それがうまくいきました。また、中山町自治会では、災害時要援護の取組として、ようやく予算化ができ、“白いリボン”の取組を進めています。毎月１回、安否確認訓練として白いリボンを掲げています。昨年 12 月には、村井委員長を講師に迎え、“個人情報保護”についての講演会を実施しました。高齢の方の個人情報の適切な利用について、民生委員児童委員の一人ひとりが、一軒ずつ回って説明を行うつもりで、説明資料を用意しています。こうしたが声掛けを取組のきっかけにしていきたいと考えています。 （森委員）ささえ愛プラン第２期計画では、“つながり”がキーワードになっており、地域ケアプラザも区役所・区社会福祉協議会と一緒になって、地区支援を進めています。地域ケアプラザの役割としては、何かあれば地域に出向いて、職員の顔を覚えていただくことに努めています。地域の中でも少しずつですが、浸透してきたのか、職員を指名して依頼などがくるようになりました。人事異動などもあるかもしれませんが、平成 25 年度も「つながりを大切に、心のこもったささえ愛」をキャッチコピーに、こうした地域との”つながり〃を大切にしていきたいと思います。 （横塚委員）あたり前のことですが、取組を継続していくことが大事だと思います。長津田地区では、先ほどお話しました黄色いバンダナの取組を行政とも相談しながら進めてきました。そして、決して簡単な事ではありませんが、今度は支援する側の確保として、「緑のバンダナ」の普及に取り組んでいきたいと考えています。 （吉田委員）いずれの取組も素晴らしいと思います。私の方から一つだけお願いがあります。東本郷地区社会福祉協議会では、ラジオ体操や老人会活動に助成を行っていますが、そういった情報を提供することが、地域活動の広がりの呼び水にな

	っています。例えば、「元気づくりステーション」の決定の仕組みなど非常にわかりづらいので、こうした地域の取組に関する情報を区で整理して地域全体に提供し、呼びかけてもらえると有難いです。 （村井座長）磯子区では、全地区共通で“見守り”をキーワードにした事業を展開しています。いろいろな機会を捉えて、こういった地域に関わる情報が伝えていくことが重要だと思います。 以上で、本日の議題は全て終了となります。委員の皆様には長時間にわたり、様々なご意見いただき、ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しいたします。 **3　開会（事務局）** ＜次回（平成 25 年度第１回の日程について＞ ８月 28 日（水）の午前中を候補日とし、委員長と調整の上、後日、連絡を行う。